

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和4年3月18日

事業所名 武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館  
通園部ウイズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1	利用定員に対して、十分な活動スペースを確保できている。パーティションで分けつけてクラスごとの活動をしたり、開放して2クラス合同での活動を行うなど目的に合わせて使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	8	2	東京都の配置基準は満たしている。2クラスに分けて活動を行っているが、活動内容によって職員配置を随時調整している。職員による個別の関わりが必要な活動や当日欠席があった場合に、より適した職員配置が取れるような体制ができるとなお良いと考える。	活動時間中の職員の業務内容と分担及び当日の利用児数などを踏まえ、適切な配置を検討する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	3	クラスの部屋は食事や自由遊びの時間など活動内容によって使い方を工夫している。建物はワンフロアでバリアフリーである。一日の活動内容やルーティン活動などは見て確認できるよう絵や写真、文字を使って提示している。また、利用児に提示する文字のフォントをユニバーサルデザインに統一している。活動室からトイレに移動する動線が長く複数のドアもあるため改善が必要である。	部屋の使い方は工夫しているが生活動線が長くなる部分があり、引き続き利用児の様子に合わせて検討、改善を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	3	感染症対策のため共有物は利用ごとに消毒している。利用児が使うスペースは降園後に毎日清掃している。比較的小さい空間の部屋には活動準備のための物が置いていることが多いため、クールダウンや個別課題のための部屋を適宜確保する必要があることが課題である。	部屋は提供する活動に合わせて有効活用する。とくにクールダウンできる空間は目的に合うよう確保し随時使用できるように整える。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	3	行事等はPDCAサイクルで実施し、次年度に向けた振り返りを行っている。日々の業務改善についても随時行っているが、その過程は短時間勤務の職員もいるため決定事項を書面で共有することもある。	職員の勤務時間に応じて、課題の共有や改善の検討ができる時間を設定する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	保護者向け評価表と武蔵野市公の施設のモニタリングをそれぞれ年1回実施し、出された意向を職員間で共有し、それに基づいて業務改善を行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0		事業所自己評価および保護者向け評価表を3月中に当事業所ホームページで公開する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	1	今年度は実施していない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	2	外部研修、法人内・こども館内での研修への参加、OJTなどの機会を設けている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	2	毎月利用児それぞれの状況を職員間でアセスメントしモニタリングを実施している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	4	子どもの標準的な発達段階を踏まえて状況把握し、職員間のミーティングでアセスメントを実施している。標準化されたアセスメントツールは使用していない。	ウイズでの支援を考える際に活用しやすいアセスメントツールの導入を検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	3	発達支援計画は、本人への発達支援が中心となることが多いが、家族や地域の状況を踏まえて考慮し支援内容を検討している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	年2回保護者との面談にて計画の見直しを行っている。また、毎月のモニタリングの際に個別の支援目標を確認し支援にあたっている。	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2	職員のミーティングで活動プログラムの内容を検討、決定している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	およそ1週間同じプログラムを繰り返して課題を少しずつステップアップし定着を図った後、別のプログラムへ変更している。季節の行事や自然に触れ合う活動も取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1	基本的には集団活動であるが、活動内容によってはPTOTの助言等を踏まえて、必要に応じて個別の課題設定や対応を実施している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	6	送迎車の添乗や職員の勤務時間の違いから、開始前の打ち合わせが難しいため、ホワイトボードに活動のねらいや配慮点、職員の当日の役割を記載し共有している。書面で伝えきれない点は職員個々に声を掛け合うことで補っている。	今後は打合せ時間の設定を検討する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	利用児の降園後にその日振り返りの時間を設け、情報共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	支援記録システムで記録管理し、支援の振り返りや計画作成の際に必要なに応じて活用している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	毎月モニタリングを実施しモニタリングシートにまとめている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	今年度、サービス担当者会議の開催はなかったが、相談部ハビットとの情報交換は児童発達管理責任者や利用児の担当者が行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	0	必要に応じて子ども家庭支援センターや幼稚園との連携を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10	0	サービス等利用計画書の内容を踏まえて支援を実施している。また、保護者同意の上で相談部ハビットと連携して支援を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	0	医療的ケアの実施は主治医と連絡を取り、具体的な方法や緊急時対応等を確認の上実施している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	移行や併用にあたり独自書式の「大きな集団への参加を考えたときに、保護者や周囲のみなさんと一緒に確認したいこと」を活用し利用児の状況を保護者と確認している。その内容を保護者を通じて園へ伝えていただき、直接教員と電話連絡を行うなどで園とは情報共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	就学相談員の個別行動観察や、就学先の教員の活動見学の受け入れの際などに情報共有も合わせて行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2	市内児童発達支援事業所連絡会に参加し、情報共有や共通課題に関する研修を受けている。また、他事業所の見学、リハビリ専門職との連携を実施したが、コロナ感染症の影響により頻度は少なかった。	他感染状況を踏まえて積極的に連携を進めていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	3	例年直接訪問を行っていた幼稚園、保育園との交流は、昨年度に引き続きコロナ感染症の影響で行えなかったが、手紙のやり取り等は実施した。	感染状況を踏まえて積極的に進めていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	2	市内児童発達支援事業所連絡会や子ども子育て支援ネットワーク会議等に参加している(一部の会議はハビットと役割分担し情報共有している)。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1	「せいかつきのきろく」により相互に伝えあっているが、必要に応じて電話連絡や定例以外の面談を実施している。活動を直接保護者に見学いただく機会が少なかった。	活動見学や面談の頻度、連絡方法のバリエーションを増やすなど改善に取り組む。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	1	ペアレントトレーニングではなく、作業療法士による保護者向け講座を実施した。	保護者向け講座は継続実施する。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1	利用開始前に入園説明会を実施し、その際に説明を行っている。利用開始後も随時質問に応じている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画の作成している。保護者との面談で計画を提示し同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	保護者からの相談は随時受け付けており、電話や送迎時の相談の他、必要に応じて面談を設定して助言や関係機関の案内を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	2	こども館内に保護者が密集を避けて集まれるスペースがないため、ウィズ主催の保護者会の実施と保護者主体の親の会の会場提供を、市の協力を得て市内の会議スペースで行った。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1	保護者からの相談申し入れに対しては、利用児の通園中や降園後の時間など、保護者の都合に応じて可能な限り迅速な日程や方法を提示し対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	年間予定と毎月の活動予定、行事ごとのお知らせを配布している。また、児童の写真を中心とした「ういずきっず」も発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	全職員を対象に情報セキュリティ研修を実施している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	保護者の意図をより適切に汲み取れるよう、職員の面談スキル向上のための研修を今年度新たに実施した。	研修を継続し、スキルアップを図る。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	1	地域開放事業のあそぼうデーについて、昨年度は拡大防止のため中止したが、今年度は予約制・定員制などの感染症対策を行い実施した。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	1	マニュアルに基づいた避難訓練を定期的実施している。また、コロナ感染症の状況に応じたマニュアルを随時更新している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1	全館での避難訓練に加えて、通常活動の中に避難訓練の要素を取り入れた。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	1	入園時の情報収集において、必要な事柄は確認している。今年度はエピペンについて職員勉強会を行った。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	医師の指示書に基づいて除去食を提供したり、頓服薬を保管している	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	けが等があった場合は必ずヒヤリハット報告書を記載し、事業所内で共有し改善策を検討している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	職員によるセルフチェックを年2回と、保育士向けの人権擁護セルフチェックリストを活用した研修を実施した。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	2	肢体不自由児の座位保持のベルト、送迎のチャイルドシートのみを行っている。	